



学校案内
2021

東京都立 八王子西 特別支援学校

<http://www.hachiojinishi-sh.metro.tokyo.jp/>



校訓

自律自啓

「自律」とは、自身の規範に従って動くこと

「自啓」とは、人から教えを受けたり自ら進んで学んだりすること

「自律自啓」とは、人から必要な支援を受けながら、

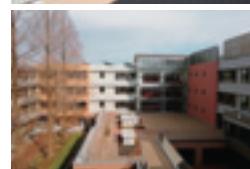
自ら情熱をもって学ぶ児童・生徒の姿を意味しています

教育
理念

わかって動く 考えて動く 責任を果たす

教育
目標

- 健康な身体と豊かな心をはぐくむ
- 個性を生かし、主体性をはぐくみ、生活する力を育てる
- 自ら考え、判断し、表現して行動する力を育てる
- 社会の一員として、働く意欲と自立する力を育てる
- 仲間を思いやり、仲間と協力する力を育てる



本校には、自閉症を併せ有する児童・生徒が多く在籍しているため、児童・生徒の「自ら」を大切に、自発的に「わかって動く」「考えて動く」ための教育環境を整備し、障害特性に応じた教育を推進しています。そのために、多くの専門家と連携し、抽出型(個別)や観察型(集団)のアセスメントを通して、専門的視点から根拠に基づいた指導を徹底しています。

また、小学部から高等部までの12年間を4年ごとに区切り、3ステップの教育内容を接続すること(本校では「4-4-4」と呼称)により、児童・生徒の自立と社会参加・貢献に向けた「態度」(※)の育成を図ります。

さらに、中学部や高等部に他校から入学する生徒に対しては、身に付けるべき『態度』の再構築を図り、類型化したカリキュラムの中で更なる企業就労を目指します。

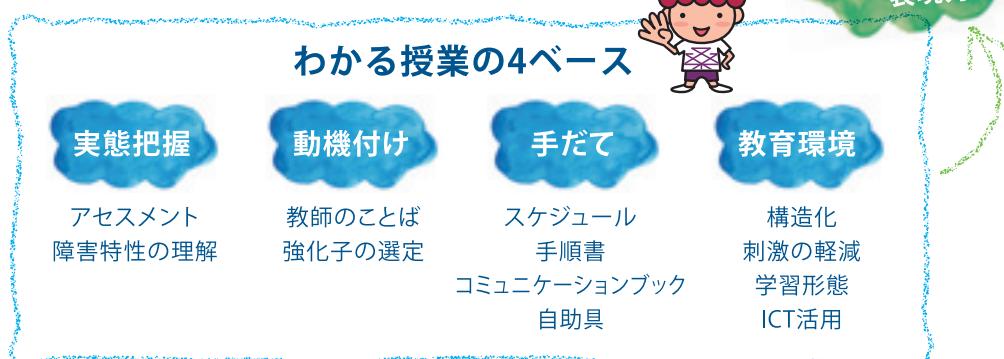
このような12年間を貫く「態度の育成」を軸としたカリキュラムにより、児童・生徒一人一人の「生きる力」を育みます。



※「態度」…ここでいう「態度」とは「働くことに向けて学んだ知識・技能を自分から発揮しようとすること」を指し、「態度」は6つの領域(応答性、自律性、積極性、責任性、柔軟性、協調・協力)から成ります。<「態度の6領域」(東京学芸大学 菅野 敦名誉教授の研究より引用・改変)>

自立活動をベースに「教科指導」を充実させます。

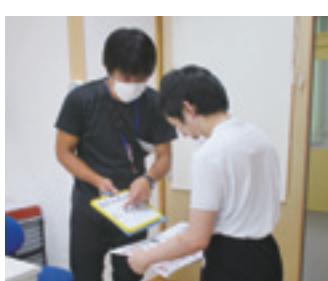
自立活動は「個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う」ことを目標とした学習活動です。知的障害特別支援学校においては、すべての教育活動に「自立活動」の要素が含まれています。



本校では「わかる授業のための4ベース」を定め、これを土台に教科指導を行うことで、児童・生徒の「思考力・判断力・表現力」を高め、「わかる」「できる」が実感できる学びを実現します。



「4-4-4」の実践により、学部間の連携を強化します。



小学部から高等部までを4年ごとに区切り、3ステップの教育内容を接続したカリキュラムにより学部間を確実につなぎます。ステップや学部間のつながりを強化するため、それぞれの区切りを超えた「協働授業」(例：小学部第4学年と小学部第5学年の合同で行う「生活単元学習」等、中学部第3学年と高等部第1学年の合同で行う「作業学習」等)を実施し、次のステップへのスムーズな移行を果たします。



重要なのは、一貫して指導のアプローチ(あり方)を変えないことであり、小学部から高等部まで積み上げてきた『態度』が、社会の中で継続して発揮できるようにします。

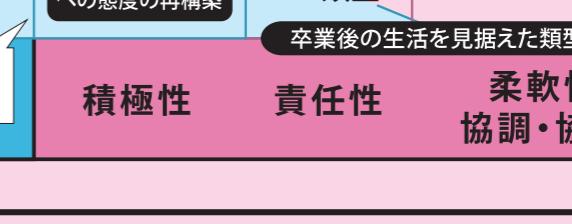
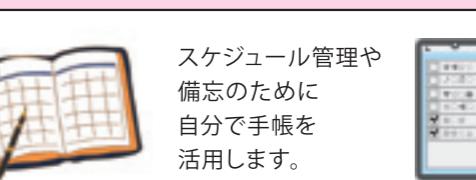
「態度」の育成を軸にした八王子西特別支援学校の教育

積み上げる知識・技能

活用する思考・判断・表現

ボトムアップ・アプローチ

トップダウン・アプローチ

教育理念	ステップ1 わかつて動く	ステップ2 考えて動く	ステップ3 責任を果たす
教育課程	小学部 小1 小2 小3 小4  応答性	中学部 小5 小6  自律性 	高等部 中1 中2 中3  III類型 卒業後の生活を見据えた類型化 III類型 応答性 自律性 積極性 責任性 柔軟性 協調・協力
身に付けさせたい「態度」	日常生活の指導  最高学年では、次の学部と一緒に学習する機会を設け、スムーズな移行を図ります	作業学習  役割のある活動で活躍する	高等部になると一人一人に合った就労を目指して、校外での実習にも取り組みます  ライン作業で協力して完成させる セル作業に取組み一人でより高度な完成を目指す
各教科等を合わせた指導 「態度」を育成する	環境が変わっても身に付いた態度を維持できるように各学部における指導のアプローチを変えません		
各教科等 知識・技能を身に付ける	国語・算数、体育、音楽、図画工作	国語・数学、保健体育、音楽、美術、職業・家庭、総合的な学習の時間	国語、数学、保健体育、音楽、美術、職業、家庭、理科、社会、英語、総合的な探究の時間、情報
社会性の学習 自立活動 「態度」の基礎・土台を身に付ける	応答性のスキル  わかる授業の4ベースの理解・習得・活用	自律性のスキル  コミュニケーション・ブックやスケジュール帳の活用、対人関係に関するスキルの習得	自律性以降のスキル (積極性・責任性・柔軟性・協働できる力など)  ICT機器などを活用し、自分の苦手な部分を補えるようにします。

「態度の6領域」(東京学芸大学 菅野 敦 名誉教授)より引用・改変

自立、社会参加・貢献

特別支援教育のセンター校です

八王子西特別支援学校

本校は、八王子市における特別支援教育のセンター的機能を担っています。

センター校として、八王子市教育委員会(小学校・中学校)をはじめ、保育園・幼稚園や高等学校・大学等の関係諸機関と連携し、八王子市における特別支援教育の推進を図っています。

関係諸機関に対しては、巡回相談や研修・研究活動等への支援をいたします。

また、上記関係諸機関を利用されている児童・生徒の保護者等に対しては、教育相談・理解推進等の支援をいたします。お気軽にお問い合わせください。

通学区域

八王子市(以下地域を除く：鹿島、松が谷、大塚、東中野、堀之内、越野、松木、別所、南大沢、上柚木、下柚木、鎌水、中山、南陽台)

通学方法

一人通学が難しい児童・生徒については、通学の保障と通学に伴う付き添い者の負担軽減を目的として、スクールバスを運行しています。本校には14台のスクールバスがあり、乗車時間は40分～1時間程度です。指定された停留場所まで送迎をしていただき、乗降します。高等部は、一人通学が原則です。

就学奨励費

世帯の収入状況に応じて、国・都から就学奨励費(給食費、通学費、補助教材費など)が支給されます。



- JR中央線「高尾駅」より徒歩約11分
●京王高尾線「狭間駅」より徒歩約8分
●高尾駅南口バス停より
 京王バス③乗り場 高24・八04館ヶ丘団地行「狭間町」下車
 京王バス②乗り場 高28・グリーンヒル寺田行「柵田遺跡公園通り」下車



東京都立八王子西特別支援学校

知的障害特別支援学校 小学部・中学部・高等部普通科設置校

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町546-1

Tel.042-666-5600(代) Fax.042-666-0550

<http://www.hachiojinishi-sh.metro.tokyo.jp/>



八王子西特別支援学校
キャラクター「くわっこ」